

## 令和3年度 葛飾区総合教育会議 会議録

開会年月日：令和3年10月29日（金）

場 所：葛飾区役所7階 701・702会議室

出席者：	葛飾区長	青木 克徳		
	教育委員会	教 育 長	小花	高子
	同	教育長職務代理者	上原	有美江
	同	委 員	壺内	明
	同	委 員	望月	京子
	同	委 員	日高	芳一
	同	委 員	青柳	豊

議 題：(1) かつしか教育プラン（2019～2023）の推進について  
(2) その他

開 会：午前10時00分

閉 会：午前10時36分

関係出席者：	政策経営部長	田口 浩信
	学校教育担当部長	菅谷 幸弘
	政策企画課長	福島 啓介
	経営改革担当課長	竹田 信
	教育総務課長	鈴木 雄祐
	学校施設担当課長	森 孝行
	学務課長	山崎 淳
	指導室長	加藤 憲司
	教育情報担当課長	羽田 顕
	学校教育支援担当課長	大川 千章
	統括指導主事	木村 文彦
	地域教育課長	尾崎 隆夫
	放課後支援課長	高橋 裕之
	生涯学習課長	加納 清幸
	生涯スポーツ課長	柿澤 幹夫
	中央図書館長	尾形 保男

会議の結果及び発言：2ページ目から13ページ目のとおり

## 【区長】

皆さんお揃いになりましたので、ただいまから令和3年度葛飾区総合教育会議を開会したいと思います。よろしくお願いいたします。

会議に入ります前に、皆様にお諮りをさせていただきたいがございます。この総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき原則として公開をすることになっております。本日も傍聴の方がお見えになっております。傍聴を許可したいと存じますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。それでは、ご異議ございませんので、傍聴を許可したいと思います。お願いします。

(傍聴人入室)

それでは、傍聴の方に申し上げます。傍聴にあたりましては、静粛を旨とし、会議の妨害となる行為は慎んでいただきますよう、よろしくお願いいたします申し上げます。

なお、当会議の議事録作成のため録音をさせていただきますので、あらかじめご了承をいただきたいと思います。

それでは、さっそく始めたいと思います。

この会議が葛飾区の今後の教育について協議する有意義な場としたいということで、それぞれの皆さんからたくさんの発言をいただいて進行していきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします申し上げます。

本日の議題に入りたいと存じます。議題(1)かつしか教育プラン(2019～2023)の推進について、です。教育委員会では、教育振興基本計画である「かつしか教育プラン」を策定しまして、このプランに基づく様々な施策や取組を推進していると伺っています。

本日は、「かつしか教育プラン(2019～2023)の推進について」、委員の皆さんと協議をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

<教育長挙手。区長指名>

## 【教育長】

総合教育会議を開催していただきまして、ありがとうございます。

ただいま、区長からお話がありましたとおり、教育委員会では2019年度から2023年度までの5年間を計画期間といたします「かつしか教育プラン(2019～2023)」を策定し、「みんなで育ちあう「かつしか」で、自信と誇りあふ

れる人づくりを進めます」を掲げて、様々な取組を進めているところでございます。

本日は、その中で「学力向上のための取組の充実」や「学校改築」など、来年度、教育委員会が重点的に取り組んでいく事業などについて、協議させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、概要について、まず事務局から説明いたさせたいと存じます。

### 【教育総務課長】

はい、それでは私、教育総務課長の方から資料1の概略につきまして、まずは一括してご説明をさせていただきたいと存じます。それではお手元の資料1からご覧ください。

資料の1ページでございます。教育プランの施策では、「確かな学力・体力を身に付けた子どもの育成」区の計画事業では「総合的な学力向上事業」でございます。まず、取組内容及び進捗状況でございますが、小学校では今年度の全国学力・学習状況調査の正答率が全国平均、こちらを上回っているものの、中学校では未だ全国平均に達していないという状況でございます。

今後につきましては、学習の基盤となります言語能力、読解力などの育成を図るために、「主体的・対話的で深い学び」に向けた取組を進める必要がある、と考えてございます。

また、今年度から小学校の学習指導補助員の配置、中学校における家庭学習、タブレットを活用した自学自習の取組を進めるとともに、区で実施いたしました学習状況・学習意識に関する調査結果を踏まえた授業の充実、また個別最適化したデジタルドリルの活用を進めているところでございます。

これらを踏まえまして、令和4年度の取組予定でございます。これまでの学力向上の取組をさらに発展させるとともに、ICTの活用により、個別最適な学びの実現や、情報活用能力の向上のための取組を進めてまいりたいと考えてございます。また、引き続き小学校における学習指導補助員の配置、また中学校におけるタブレットを活用しての自学自習等の取組を総合的に進めてまいりたいと考えてございます。

なお、これらの内容にかかります現時点での来年度の経費の見込み、こちらは中学校の学習指導員の配置回数の増などを含めまして、9,000万円余りを考えてございます。

総合的な学力向上事業については、以上でございます。

続きまして、ページをおめくりいただきまして2ページ目でございます。

同じく学力・体力のところでは教育情報化推進事業でございます。取組の内容及

び進捗状況でございますが、現在、教育委員会では2段落目から記載してまいりますように、「かつしか教育情報化推進プラン」におけます4つの目標、こちらの実現に向けまして、教育の情報化を図っているところでございます。

4年度の取組予定でございます。まず、今年度から全小・中学校に週5日間配置しておりますICT支援員、こちらにつきましては1人1台タブレット端末、といった教育環境が変化している中で授業の充実に、たいへん大きな役割を果たしているということで、継続して配置していきたいというふうに考えてございます。

またタブレット端末を活用いたしました家庭学習における通信環境整備の支援、さらに保護者向けの支援といたしまして設置したヘルプデスク、こちらについても必要に応じた内容といたしまして、継続をしていきたいというふうに考えてございます。

さらに、こちらの施策を計画的に進めるための次期「葛飾区教育情報化推進プラン」、こちらも策定準備に着手してまいりたいというふうに考えてございます。

4年度の事業費といたしましてはICT支援員の配置の経費を始め、約20億円を見込んで、というところでございます。

こちらにつきましては以上とさせていただきます。

続きましてページをおめくりいただきまして、3ページ目でございます。

こちら一人ひとりを大切にする教育の推進、というところでございまして、発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実、でございます。

取組内容および進捗状況についてですが、記載の通り、現在、区では小・中学校全校に特別支援教室、こちらを設けておりますとともに、小・中学校に各1校ずつ「自閉症・情緒障害特別支援学級」の固定学級を設けて運営しているところでございます。本区における支援のニーズ、というところでございますが、状況につきましては微増傾向ということでございまして、今後も適切な環境整備をして行く必要があると考えてございます。

そこで令和4年度の取組予定等でございますが、「自閉症・情緒障害の特別支援学級の固定学級」、こちらにつきましては来年度、小・中学校に各1校ずつ増設をしていきたいというものでございます。また、特別支援教室におきまして、読みのつまずきに効果的と言われてございますMIM（ミム）、すなわち「多層指導モデル」こちらについて、タブレット端末を活用いたしますデジタルMIM、こちらの導入を考えているところでございます。

また、東京都教育委員会による「特別支援教室の運営ガイドライン」これを参考といたしまして、児童・生徒への支援内容を総合的に判断する体制を整備するもの、また子どもの関わりに課題のある保護者への支援といたしまして、ペアレントトレーニング、こちらを実施していきたいというふうに考えてございます。

これらにかかります4年度の事業費につきましては、1億円余りを見込んで

いるところでございます。

こちらについては以上でございます。

続きまして4ページでございます。

毎日行きたくなる学校づくり、こちらからは学校施設の改築というものでございます。取組内容及び進捗状況についてでございますが、区内の学校の多くが、やはり建築後相当の年数を経れておりまして、教育環境の向上のためには改築あるいは長寿命化、そういった手立てを講じる必要がある、ということでございます。

表にございます①から⑦につきましては既に改築に着手している、あるいは着手することが決まっている学校の状況について記載をさせて頂いてございまして、出来る限りこの計画に則り進めてまいりたいというふうに考えているところでございます。また表のいちばん下にある⑧といたしまして、現在改築が決まっている学校の次に改築に取り組む学校の選定について、実施をしてまいりたいというふうに考えてございます。

これらを踏まえまして令和4年度の取組予定でございますが、既に改築に着手等している学校につきましては、先ほど申し上げたとおり引き続き必要な調整を行いながら改築のほうを進めてまいりますとともに、また次期改築校の選定にあたりましては、令和5年度の選定に向けた準備を来年度、4年度中に行ってまいりたいと考えてございます。

こちら2段落目の「また」以降でございますが、事業を進めるにあたりましてはコストの平準化、これを図りますために、6年度以降につきましては改築、長寿命化、改修それぞれ年1校から2校取り組むということに記載させていただいてございます。

4年度の事業費の見込みにつきましては約80億円、というところでございます。

こちらについては以上でございます。

続きまして、5ページをご覧頂ければと存じます

こちらは、毎日行きたくなる魅力ある学校づくりのところから、通学路の安全点検というものでございます。

取組内容及び進捗状況でございます。通学路の安全につきましては、従前から道路管理者等と共に連携をいたしまして、危険箇所を抽出、対策を講じてきたところでございますが、平成24年には京都の亀岡市で大きな事故が起こったということを契機に、学校、保護者、教育委員会、また道路管理者、警察によります緊急の合同点検等行いまして、その後も計画的に点検を実施しているところでございます。

しかしながら、既に報道等でもご承知のことかと思っておりますけれども、本年6月

に千葉県八街市で、やはり下校中の子どもが被害者となる、痛ましい事故が起きたというところがございます。

こうしたところから教育委員会では、各学校に対して新たな観点を踏まえて、一斉に危険箇所の抽出調査をかけたところがございます。その後その調査に基づき必要な箇所を学校、保護者、警察、道路管理者、また教育委員会で合同の点検を行ったところがございます。

今後の取組予定ではございますが、合同点検の結果を踏まえまして、私ども教育委員会と学校で対応策を検討いたしまして、教育委員会として対応できるもの、また各道路管理者ですとか警察の対応によるものを振り分けて、教育委員会としての取組として進めますとともに、それぞれの機関においても対策を進めるよう要望あるいは調整を図ってまいりたい、というものでございます。

なお、事業費につきましては教育委員会としての取組ということで、顕著なところではシルバー人材センターに委託してございます誘導員の増員を含めた経費の見込み、約1億1,000万円あまりを記載させていただいております。

大変長くなりましたが、私からの説明は以上とさせていただきます。

#### 【区長】

ありがとうございます。ただいま、かつしか教育プラン(2019～2023)の推進についてのご説明を受けました。ご意見をお願いいたします。

#### 【日高委員】

それでは私からは、子どもたちの学力向上の視点から、ご意見を申し上げさせていただきたいと存じます。

小学校も、そして中学校もそうではありますが、新しい学習指導要領が全面実施されたところです。また、葛飾区の新しい基本計画、またそれに基づく実施計画が定められ、その中で教育委員会としての考え方や取組をお示ししているところがございます。そこでは、これまでの、基礎学力の定着に資する取組を継続しつつ、さらに発展させていく様々な方策を包含して「総合的な学力向上事業」と銘打ったところであります。

本事業の内容は皆大切なものばかりですが、私は特に、「授業改善」の取組が、今後の学力向上のひとつの核になると考えています。

子どもたちの学力は日々の積み重ねにより身に付いていくものですから、学校生活の中で最も時間を費やす日々の授業をいかに充実していくのかが、重要になるのは明白であります。そのためにはまず学校が客観的な指標となる学力調査や、学習意識調査の結果を活用し、学級・学年・学校ごとに学習状況を把握すること。そして、この現状把握により、これまでの授業の中で、学力向上に対して何が不足していて、どこをより伸ばしていけばよいのかを確認し、学校全体で改善策を講じ、実行していく、いわゆるPDCAサイクルの仕組みをしっかりと

と授業にも反映させていくことが大事になってくるものと考えます。

こうしたサイクルの中で、子ども一人一人の学習状況に応じた学習課題の提示や、小学校の学習指導補助員の配置によるきめ細かな授業のフォロー、自学自習のための中学校の学習指導員の配置、そして教員の指導力向上のための研修の実施は、具体的な改善策ととらえていいのだと思います。

あわせて、次代に活躍する人材の育成を考えるならば、教科化された小学校の英語教育を引き続き充実させることや、コロナ禍ということもあり中学生の海外派遣に見通しが立たないのであれば、何かグローバルな視点の取組を進めていきたいと考えるものであります。本区の子どもたちの学力向上は区としての大きな願いであると思っておりますので、これらの取組が一つも欠けることなく、来年度以降も実施していただけますように、よろしく願いいたします。

#### 【区長】

ありがとうございます。他のご意見をどうぞ。

#### 【壺内委員】

ただいま、日高委員から総合的な学力向上事業についてのご意見がありました。私からは関連しまして、教育情報化推進事業について意見を申し上げます。学校全体で子どもの学力向上のためにP D C Aサイクルの仕組みを構築していくという取組は、私も大いに共感できるところでございます。

本区では、児童・生徒に全員タブレット端末が貸与され、授業で円滑な活用ができるように学校の通信環境が整備されました。それに加えて、I C T支援員が各学校に常駐して、授業の準備段階から関わり、支援や教員への研修など、I C Tの活用について様々なサポートをしており、学校の大きな力となっています。1人1台のタブレット端末により、学校教育の環境は、飛躍的に変化いたしました。この変化は急激であるため、ここ数年はI C Tに関するサポートが不可欠と感じますので、しっかり継続していきたいと思っております。

近年は、コロナ禍や大規模災害など、以前では予測できなかったことが次々に起こっています。こうした時代においては、情報活用能力を育み、子どもたちは、自ら主体的に情報を活用しながら、他者と協働し、新たな価値を創造していくことが求められてきます。

ただ、こうした中で考えなければならないのは、町田市で児童が自らの命を絶った事件でございます。苦しんでいた児童やご遺族のお気持ちを考えると本当にいたたまれない気持ちになります。あってはならない事です。タブレット端末は、あくまで学習の道具です。ぜひともI C Tを正しく活用してもらいたいと思います。

教育委員会といたしましては、これからの葛飾を担う子どもたちに対して、I C T機器の活用だけではなく、情報モラル教育の面でも充実を図り、情報活用能

力の育成に積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、ぜひご理解のほどよろしく願いいたします。

**【区長】**

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

**【上原委員】**

子どもたちの学力向上については、先ほど日高委員、また壺内委員がお話しされましたので、改めてしっかりと教育委員会が学校と連携しながら教育に取り組んでいかなければならないと感じているところでございます。

私は、教育は生きる力を養うことだと考えております。生き抜く力を葛飾の子どもたちに身に付けて欲しいと、私は教育委員の就任時にごあいさつさせていただきました。ここで、私からは様々な状況にある子どもたち一人ひとりを大切にする教育の推進について意見を申し上げます。

現在、発達上に課題があり、教育において特別な支援を必要とする児童・生徒数は全国的に増加傾向にあり、本区においても特別支援教室の入室児童・生徒数は微増傾向となっております。

そういった状況に対応するため、小・中学校全校で特別支援教室を実施しています。また、「自閉症・情緒障害特別支援学級」は小学校と中学校各1校に設置していますが、令和4年度はこの「自閉症・情緒障害特別支援学級」を小・中学校で各1校増やして、合計で4校に拡大したいと思います。

通常の学級で授業を受ける子どもたちの中でも学力は異なっております。今後は、様々な学習のニーズに対応した指導・支援が求められています。中には支援が必要だということが表に出ていない子どもたちがいることも十分に考えられますので、その子どもたちが学習につまずく前に、指導・支援を開始する必要があります。

教育委員会では、学校の人員体制を強化し、特別な支援を必要とする子どもたちに対応し、またICTの活用等によって、学習支援が必要だけでもそのことが顕在化していない子どもたちを早期に適切な支援に結び付けていく取組を進めていきます。

これからも様々な課題を抱えた子どもたちに寄り添い、生きる力を身に付けていける教育を実施して行きたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

**【区長】**

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

**【青柳委員】**

今、各委員から子どもたちの学力向上や一人ひとりを大切にする教育についてのご意見がございました。私からは子どもたちが日々生活する学校施設の改築について意見を申し上げさせていただきます。

学校改築においては、校舎の老朽化や機能の向上への対応など、全ての子どもたちが快適に学校生活を送れるような、素敵な施設が求められています。学校施設の改築の進捗ですが、昨年度に本田中学校、また今年度には東金町小学校が竣工し、子どもたちがはつらつと学校生活を送っております。

先日、10月12日の教育委員会で「二上小学校の基本構想・基本計画」を策定いたしました。二上小学校の改築懇談会や地域説明会でのご意見を踏まえて、子どもたちが自然を感じながら楽しく学べる学校づくりを進めることや、周辺環境に配慮して、地域に開かれた学校を目指すことなどが基本構想となりました。改築は、敷地南側に校舎と二上保育園の園舎を合築し、仮設の校舎を建てずに工期を短くすることで、児童や園児に、また環境にも負担をかけないような計画になっています。

余談ですが、二上小学校は私の地元にございまして、二上小の「おやじの会」がその活動を認められ、平成26年に東京都教育委員会表彰を受けるなど、非常に地域との結びつきが強い学校でございまして、平成30年には開校65周年を迎え、ますます地域に親しまれている学校でございます。

学校改築はこれからも道上小学校、水元小学校などが続けて行われます。改築後は、計画的な水泳指導をするために、学校外の屋内温水プール施設を活用していきます。

今後は、金町公園プールを屋内温水プールに改修するという事も計画されています。各学校が計画的に水泳指導を行える環境が増えるとともに、区民のスポーツ振興、そして健康増進に寄与する施設になることを望んでおります。そうした意味で、教育委員会といたしましても、プール施設に限らず、スポーツ施設全般についてもしっかりと整備していきたいと考えております。以上です。

#### 【区長】

ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。

#### 【望月委員】

ただいま、それぞれの委員から、子どもたちの学力向上、一人ひとりを大切にする教育の推進、学校施設の改築といった学校に通う子どもたちに関連するお話がありました。

私は、教育委員になる以前から、登下校する子どもたちの見守りをしています。毎朝元気にあいさつしてくれる子がたくさんいます。私はこんな子どもたちが大好きです。子どもたちは葛飾区の宝だと思います。

そうした中で、6月に千葉県で下校中の児童にトラックが突っ込むという、痛

ましい事故が起こってしまいました。この事故で犠牲になった方々のご冥福をお祈りするとともに、ケガをされた方々の一日も早いご回復をお祈りいたします。報道を見ると、現場はガードレールが無く歩道と車道が分かれていない道で、以前にも事故が起きており、管轄の教育委員会は注意を促していたとのことです。

登下校中の児童が犠牲になった事故は平成 24 年の京都府亀岡市、平成 28 年の横浜市や平成 31 年の木更津市など、繰り返し発生しております。区や警察では、そのような事故を防ぐために対策をとり、保護者や地域の方、また、教育委員会が配置する誘導員が登下校を見守っています。そして多くの学校で保護者による登校時バリケード当番さんが、雨の日も強い風の日も見守り続けております。

7 月には、国から通学路点検について依頼があり、現在、教育委員会では、学校、PTA、警察、道路管理者等と連携して、合同で通学路の安全点検を実施していると聞いています。

今回の安全点検では新たに、見通しの良い道路や幹線道路など車の速度が上がりやすい場所や、見守り活動をしている方などから改善要請があった場所といった観点が見られました。これに加えて、子どもの視点に配慮することも大変重要なことです。

そして、大事なことは点検の結果に応じて対策をとっていくことです。対策は、通学路の危険箇所には人員を配置することなど、費用の掛かるものですが、子どもたちの安全には代えられません。関係機関と安全対策を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 【区長】

ありがとうございます。最後に小花教育長、お願いします。

## 【小花教育長】

ただいまかつしか教育プランの推進につきまして、各教育委員の皆さまから意見を申し上げさせていただいたところでございます。私といたしましても、来年度も充実したグローバルな人材、プログラミング教育・理科教育、また自学自習環境の向上などによりまして、すべての子どもの学習の意欲を引き出すことで、学力の向上に取り組む児童・生徒・保護者のみならず、広く区民の皆様の期待に応えられるように取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、現在のかつしか教育プランでございますけれども、平成 30 年度に策定をしております、令和 5 年度に計画期間を終えることになっております。そのため、来年度から 2 か年にかけて、新たな教育振興基本計画を策定したいと考えているところでございます。

教育を取り巻く環境でございますけれども、学校教育におきまして新しい学習指導要領、また教育情報化が急激に進んでおりまして、環境が大きく変化をしているところでございます。また社会教育・生涯学習におきまして、このところの新型コロナウイルス感染症の影響もありまして、これまでの対面を主とした施策の推進から、オンラインも併用した講座やイベントの開催など、新しい生活様式ですとか、区民参加の機会の拡充については、これらを踏まえた施策の推進へと変化をさせていかなければならないというふうに考えているところでございます。

新たな教育振興基本計画の策定にあたりましては、こうした社会環境の変化、また国・都の動向はもとより葛飾の現状を踏まえながら、区が新たに策定をいたしました葛飾区基本構想、また基本計画・実施計画との整合性を図りながら策定していきたいと考えておりますので、あわせてよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

## 【区長】

皆様ありがとうございました。ただいま「かつしか教育プラン（2019～2023）」の推進について、特に来年度の施策の方向性ですとか、重点的に取り組んでいく事業について皆様から様々な視点で熱意あふれるご指摘をお話いただきました。本当にありがとうございます。

私の方からも2つばかりお話をさせていただきたいと思ひます。

1つは先日、私立の幼稚園・保育園との打合せと言ひますか、来年度に向けての要望等がございました。このなかでいろいろなお話があり、教育委員会との関係では、前から私もお話をしているのですが、切れ目のない、安心して子育てができるということで幼保と小中高の連携が図れるようにということで話をしています。

なかでも、それぞれの先生方から、どうしても幼保から小へ上がる時の問題とは必ずしもある。そこで、校長先生によってはそういう場を設けていただいて話し合われているということですが、若干十分ではないところもあるというようなお話もいただきまして。やっぱり親側からしても子どもからしても、そういう切れ目切れ目のところというのはどうしてもうまくいかない部分が出てくる方も出てきますので、そこをうまく連携できるということを幼保と教育委員会、小の方の連携をうまくやっていただく。もちろん小中の連携もありますけれども、特に幼保と小の連携については力を入れていただかないといけないなど感じた部分ではありますので、ぜひよろしくお願ひします

そしてもう1点、先ほどもICTの話がございましたように、これから社会は変化をしていく中で、新たなこともたくさん出てきます。もちろん数学とか英語

とか国語はもちろんですけれども、子どもたちの中には、やっぱりそういった新しいことにも非常に興味を持って積極的に取り組む熱意溢れる生徒もいるんですね。そういう人たちも伸ばしていく教育も是非力を入れていけたらなと思っています。どんどん前に行きたい子どもをどんどん伸ばしていく、そして取りこぼすことがないようにしていく、これを両方ともきちんとやることによって、全体の学力向上につながるのかなと思っていますので、ぜひ意欲的な子どもたちを、特に得意な分野で頑張ろうとしている子どもたちを熱心に指導できる体制をつくっていけたらな、というふうに思っています。

その2つを是非お願いしたいなと思っています。

また、今日この中で皆さんからいろんなご意見をいただきました。特にこの教育プランでいただいた件につきましては、出来る限り来年の予算編成に生かしていきたいと思っています。教育はとても大事なことでありますので、葛飾の未来のためにも、教育については予算をしっかりとつけていくことができるようにしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

最後に、もし追加で何かご意見があれば、どうぞ。

#### 【日高委員】

せっかくの機会でありますので今、いみじくも区長さんからご指摘をいただきました幼保・小の連携の件ですけれども、先だって小学校の校長、それから幼稚園の園長会役員連絡会がございまして、そこで懇談をいたしました。その中で、今年度はやっぱりコロナ禍の影響がたいへん大きかった。よって、校長・園長との連携は取れていても、現場同士の具体的な連携交流がなかなかできなかった。これはコロナが収まることを願いたいというお話でございました。まさに現実はその通りでありまして、たいへん難しい部分があったのだろうなと思います。

もとより、この幼保・小の連携の教育が推進されているのは葛飾区だけだと思います。非常に誇れることだと思いますので、今後もこれを大事にして、ぜひ充実していくように頑張ってみたいな、こんなふうに思っています。

以上です。

#### 【区長】

ありがとうございます。途切れることの無いように、継続してやっていけるといいなって思っています。私立の幼稚園や保育園の先生方もやっていただいていることには感謝をしているし、是非続けていただきたい、より持続していきたい。そのような結果になっていくと良いかと思っています。

他にいかがですか。よろしいでしょうか。

はい、今日はいろんなご意見をたくさんいただきました。  
ぜひ、こうしたご意見を、今後の葛飾区の教育の繁栄のために活かしていきたい  
と考えておりますので、よろしく申し上げます。

これで、令和3年度葛飾区総合教育会議を閉会いたします。  
ありがとうございました。

(以上)